

議事録			
会議名	第 20 回 国立市環境ネットワーク会議		
日時	令和 7 年 1 月 17 日（金）15：00～16：30	場所	市役所地下食堂
【出席者】敬称略			
会員団体：明るい社会をつくる国立市民の会 丸本 アートウォーキング国立 大塩 泉中央遊園 創意の会 松田 くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部 末吉 （株）ヤクルト本社中央研究所 川野			
事務局：鈴木（環境政策課長）、松原（環境政策係長）、朽網（環境政策係主事）			
【議事内容】敬称略			
1. 各団体の活動報告			
各団体より、活動の紹介・報告が行われた。			
・丸本（明るい社会をつくる国立市民の会） 自然環境と青少年の育成について活動している。クリーン多摩川、まと火など環境整備に関することにも取り組んでいる。			
・大塩（アートウォーキング国立） 現在は活動休止中。遊園で伐採した樹木を移植したり、チップにして再利用するような活動をしている。			
・松田（泉中央遊園 創意の会） 月に 2 回、市内二つの公園にて整備や美化活動を行っている。			
・末吉（くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部） 自転車でまちづくりをしようという考えの団体。実際に自転車で走って、体験してもらおうということで活動していたが、コロナの影響を受けている。			
・川野（（株）ヤクルト本社中央研究所） ヤクルト中央研究所の周りのクリーン運動や、木の植栽などに取り組んでいる。タバコのポイ捨て対策や清掃関係で他の団体とコラボができたと思う。			
2. 環境フェスタの振り返り			
令和 6 年度環境フェスタでの環境ネットワークの出展ブース「移動式えねこや」について、事務局より資料を基に報告を行ったのち、下記のとおり意見が出た。			
（大塩）「えねこや」については、目を引く効果があるので環境フェスタだけではなく、駅前の広場に置くことも考えて良いのではないかな。			
（末吉）「えねこや」は、最初は城山公園に設置できないか考えていたが、コロナの影響でそれが流れた。コロナが収まり、やっと環境フェスタにて出展することができた。学校への出前授業を行ったり、商店会を巻き込んで皆で何かやるのも良いと思う。			
3. 環境基本計画進捗状況報告について			
環境基本計画進捗状況について、事務局より報告を行ったのち、下記のとおり意見が出た。			
（末吉）ごみの一人当たり排出量が国立市は多いとのことだが、家庭部門の割合が高いので、傾向的にそうになってしまう面があるのではないかな。			
（大塩）一人暮らしが多いのも、一人当たり排出量が多い要因の一つだと思う。個包装が増えていることもごみの量の増加につながっていると思う。			
4. ゼロカーボンシティと環境ネットのこれからの活動について			
5. 国立市環境ネットワークの会員増加策について			
議題について、下記のとおり意見が出た。			
（丸本）高齢化もあり、SNS を使えない人も多い。会員増加策を考える際には、そのことも考慮する必要がある。			
（末吉）まずは自治体から取り組みを進めることが必要だ。国立市で新電力を立ち上げ、まちづ			

くりをしていければ若い人も興味を持ってくれる。

(川野) 温暖化で気温が上昇し、省エネ化することの負担も大きくなっている。今後はやはり、金銭面での支援などが必要。若い人の参加を促す際にも同じことが言える。新しい取り組みの構想があっても実現するお金がないと、若い人が意見をしても意味がないと判断される。SNSについては、誤った情報や悪い意見も拡散されてしまうので、その点は注意する必要がある。環境ネットワークは、過去には数十の団体が活動に参加していたとのことで驚いている。

(末吉) 過去にはそうだったが、年々参加団体が減っていった。

(丸本) 環境ネットワークという組織の分野が広すぎるので、個々の団体は自分らには関係のない話題だと思ってしまう。まとめあげるアイデアがあれば違う結果になると思うのだが。

(末吉) 一つの構想として、新電力がある。運営を市民が行った事例が既にあり、国立市では太陽光を活用することで実現できるのでないか。「えねこや」を環境フェスタにて出展したのも、市民にゼロカーボンシティの問題について体感してもらうためだった。

以上